



今日の「インターンはこんな感じ」

こんな企業様でインターンをしています！

株式会社 S 様



株式会社 S CSR 推進室 企画グループマネージャー 嵩様のお話

株式会社 S はどんな会社？

□事業内容

衣料品、家庭用品、食料品、サービスの小売チェーンの運営

□設立

1963年4月19日

□所在地

(本社)東京都豊島区 (支社)東京都北区

□社員数(受け入れ当時)

社員7名(部署内)インターン1名

□契約内容

インターン週2日×2名

□なぜインターンシップ総合研究所に依頼されたのか？

S社様は、もともとインターンシップ総合研究所のお取引先の企業様とお取引があり、その企業様に人材の件で相談した所良いところがあるということで、紹介をしていただきました。

理念にも共感していただき、非常に良い関係を築いています。今までに7名を受け入れてくださっています。

□インターン生の仕事

電話対応や、封筒の開封などの基礎的な仕事から、外部とのコミュニケーションツールであるサステナビリティレポートの作成サポートをお願いしています。インターンシップも段々慣れてくると本部から各店舗に発信する、環境実績、レジ袋辞退率や、CSR マネジメント文書の管理など、責任ある仕事も任せられるようになります。

株式会社 S CSR 推進室 企画グループマネージャーの嵩です。弊社とお取引がある企業さまからインターン総研さんをご紹介いただきました。

学生さんということもあり、正直最初はここまで優秀だとは思っていませんでした。

佐々木さんは最初の面接の時から非常に前向きな方だなと感じていました。いつも仕事をする際はコミットメントしよう！という気概を持っていると感じられる動きをされていました。

自分で何か見つけ出し、それを提案するということまで持っていく力はもともと持っていると感じています。

前回のインターン生(エコファミリーレポート「環境大臣賞受賞」)に引き続き、S社が社外に向けて情報を発信しているレポートで「明日を創る賞」を受賞されました。このときは本当に僕らの手伝いもほぼない状態で佐々木さんが作り上げました。普段は仕事も速いので定時に帰っていただいていたのですが、その時は自分から志願して、夜の9、10時くらいまで残って作成していました。その時のがんばりも含め、僕以外のスタッフからの信頼も厚く、インターンを終了した後でもスタッフとの飲み会に参加してくれたりと交流は今でも続いています。

彼の一番感心すべき所は

- ①仕事に対するコミットメントを意欲している。
 - ②常に自分に何ができるかを見つめる姿勢を持っている。
 - ③人を明るくすることができる。
- の3つに集約されます。

彼のようなインターン生が今後も続いてくれることと彼が良い就職活動を終え、自分のやりたいことを見つけてくれることを期待しています！
本当にありがとうございました！

インターン生の方はこんな方です

インターン生のご紹介

□大学

日本大学

□職務

企画事務

□氏名、性別

佐々木さん、男性



インターンを終えて…

仕事をするって「楽しい」ということ。

自分の中で、日々効率よく改善して仕事ができるように「考え」、それを「実行」して「達成」していく。その繰り返し、自信と余裕を生み出し、組織の中で貢献している喜びを感じられました。

頼られるということは、自分がやってきたことが評価されているということです。それを感じて、また頑張ろうと努力するのです。社員様が喜ばれる顔を想像しながら、試行錯誤して最後まで仕事を成し遂げることが出来ました。

また、仕事帰りの充実感がたまりませんでした。月を重ねる度に、帰宅の途についたときに「今日も仕事した！」という満足感や清々しさを感じることができました。

体調管理とタイムマネジメントの課題

インターンシップを始めたばかりの時には、仕事の前日に友達と飲んだり、夜遅くまで起きていたりなど学生生活が抜けず、朝早く起きることに苦労しました。しっかりした食事と睡眠をとるなど、メリハリのある生活が働く上で基本となることを痛感したのを覚えています。

また、ひとつの事に没頭するとなかなか手放せなくなってしまい、頼まれた仕事を終わらせるまで遅くまで残ってしまうことが多々ありました。これからは、広い視野を持ち、優先順位を付けて仕事に取り組むことが必要だと感じています。

仕事内容

□1週間目

データ打ち込み作業

□1ヶ月目

レポート作成

□2ヶ月目

エコニコ学習室

□3ヶ月目

レジチェーン協会との橋渡しの存在となる。

□4ヶ月目

日給も上がり社員さんに信頼される存在となる。

仕事内容は段階的にレベルアップ！決まったカリキュラムはなく、成長スピードや企業様のご都合に応じてどんどんお仕事を任せられます。

インターンシップ総合研究所からの声

インターン総合研究所担当者・清水

佐々木さんの第一印象は、「元気な方だなあ」というものでした。プラス思考で、周囲の人も明るくさせる力を持っていらっしゃる方でした。

佐々木さんは持ち前の適応力と柔軟性で、電話対応などの事務的な仕事から外部とのコミュニケーションツールであるサステナビリティレポートの作成サポートまで、自分の仕事スタイルを確立されていました。「自分が何を求められているのか」「自分は何をすべきなのか」を考え、主体的に業務に取り組まれていた結果だと思えます。

特に社外向けの環境レポートの作成においては、夜遅くまで残って自主的に作成されていました。以前のインターン生が環境大臣賞を受賞されていたので、「僕も賞を取りたい！！」と強く思われていたようで、ほぼ1人でレポートを仕上げ受賞されました！佐々木さんのレポートは「明日を創る賞」を受賞し、彼の仕事に対する熱心さとコミットする根性に改めて感心したのを覚えています。

佐々木さんの活躍のおかげで、S様はインターン生の受け入れ枠を拡大してくださいました。今では4名ほどが頑張っています。今のインターン生とも交流を持ってくださり、本当に良い関係です！これからも宜しくお願いいたします。そしてありがとうございました！